

区民意識調査

集計結果の一部をお知らせします

端数処理の関係で構成比の合計が100にならないことがあります。

区では、区の重要課題に対する区民の皆さんの意識や要望を、今後の区政運営に反映させるため、毎年「区民意識調査」を実施しています。30年度の調査は、住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の2,500名を対象に、昨年7月に郵送で実施し、1,251名から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。30年度は、毎年調査している「区政への関心度」「定住・転出意向」などのほか、「しんじゅく健康プロジェクト」「地域支え合い活動」について伺いました。今回は、集計結果の一部をお知らせします。

調査報告書は、区政情報課・区政情報センター(本庁舎1階)・区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページでご覧いただけます。また、要約版を区政情報課・区政情報センター・特別出張所で配布しています。

【問合せ】区政情報課広聴係(本庁舎3階)☎(5273)4065・FAX(5272)5500へ。

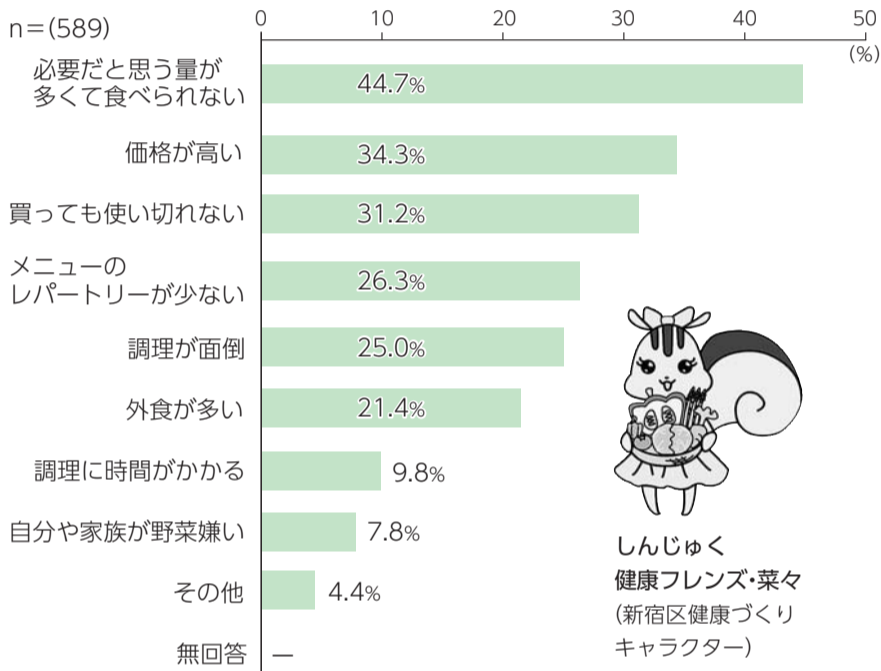
30年度の特集テーマ

しんじゅく健康プロジェクト

区では、「誰もが健康になれるまち」の実現に向けて、「しんじゅく健康プロジェクト」として、ライフステージに応じた健康づくりを進めています。

◆野菜不足の理由

野菜不足と感じている方の理由は、「必要だと思う量がなくて食べられない」(44.7%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで「価格が高い」(34.3%)が3割台半ば近くで、「買ってもし切れない」(31.2%)が3割強となっています。

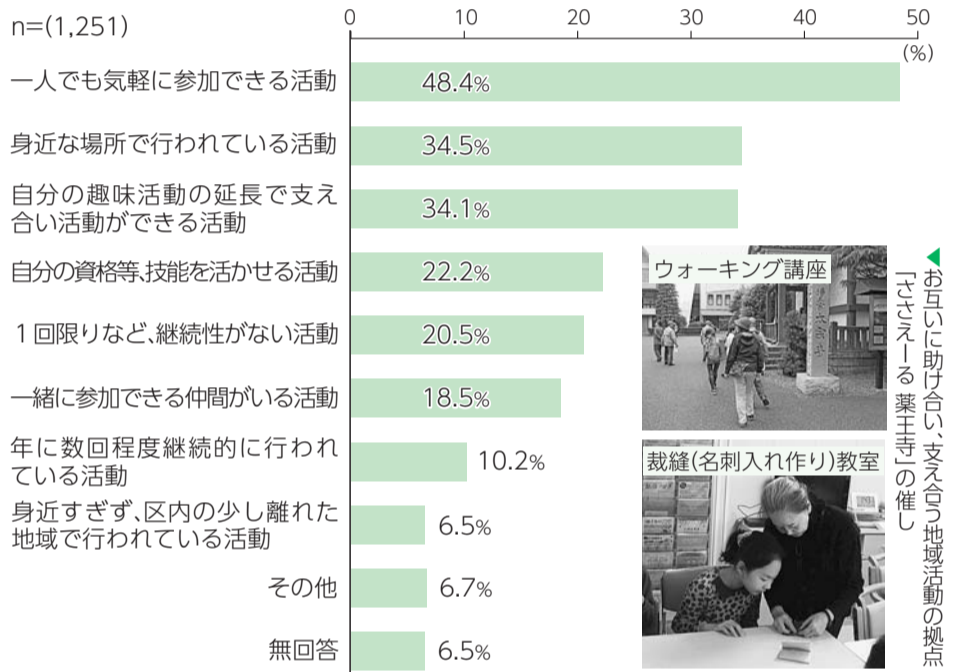


地域支え合い活動

区では、世代にかかわらず、地域の中で一人一人が役割を持ち、互いに助け合い、支え合う「地域支え合い活動」を推進しています。

◆参加したい活動

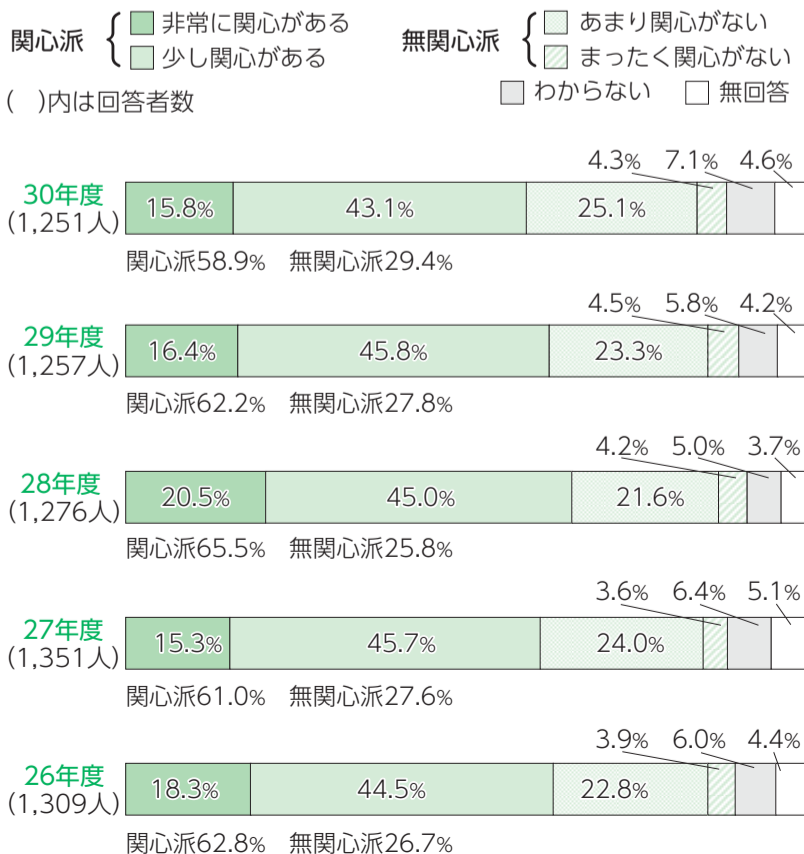
地域支え合い活動として参加したい活動は、「一人でも気軽に参加できる活動」(48.4%)が5割近くで最も高く、次いで「身近な場所で行われている活動」(34.5%)、「自分の趣味活動の延長で支え合い活動ができる活動」(34.1%)が3割台半ば近くとなっています。



毎年実施している調査項目から

区政への関心度

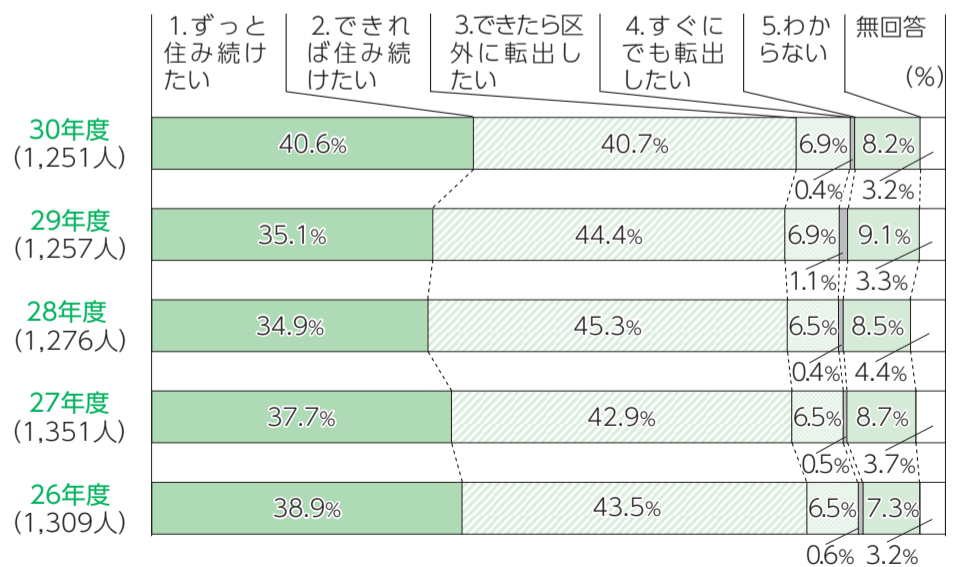
区政への関心度は、「少し関心がある」(43.1%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで「あまり関心がない」(25.1%)が2割台半ばとなっています。区政に積極的に関心を示す「非常に関心がある」(15.8%)が1割台半ばとなっている一方、「まったく関心がない」(4.3%)は1割未満となっています。



定住・転出意向

定住・転出意向は、「ずっと住み続けたい」(40.6%)と「できれば住み続けたい」(40.7%)がともに約4割となっています。一方、「できれば区外に転出したい」(6.9%)と「すぐにでも転出したい」(0.4%)はともに1割未満となっています。

26年度以降、「ずっと住み続けたい」は3割台となっていました。今年度は約4割となりました。



調査結果をまとめました

しんじゅく若者会議・しんじゅく若者意識調査

区では、区内在住の若者の意識や要望を把握し、今後の区政に反映させるため、18~39歳の区民を対象に、若者会議を30年11月17日に、若者意識調査(インターネット調査)を同年6月8日~15日に実施し、報告書にまとめました。報告書は区政情報課、区政情報センター、区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページからご覧いただけます。